

自国を愛する気持ちを私たちは忘れません。
“made in Italy” 『イタリア製』を誇ること。

すべての創造には必ず最初に『愛』があるのです。
私の夫であるレオンツィオ・ピッツォは繊細でとてもロマンチック。不撓不屈の情熱を持ったジュエリーをこよなく愛する男性です。ジュエリーに対する姿勢は私も引けをとらないつもりで彼と肩を並べ、意見を述べ合いますが、最後には必ずお互いの信頼の元にそれぞれの持ち味を活かしたジュエリーを創作することができます。そこにはやはり愛という絆があるからなのでしょう。

イタリア国内を旅し、見聞を広めることは私たちに新たなインスピレーションを与えてくれます。

それでも故郷であるヴァレンツァへ戻ると、この地への愛着は増し、そうした想いをもって親しんだ場所を眺めるとまた新たな美の着想を得ることができるのです。

クオリティの高い輝くダイヤモンド、鮮やかなルビー、透き通るような緑のエメラルド、静謐をたたえるサファイヤを

見出したとしても、それだけで美しく創造性のあるジュエリーが出来上がるわけではありません。それぞれの素材に向き合い、対話することで、その宝石本来の美しさを引き出すジュエリーを作り上げることができるのです。

ジュエリーを纏(まと)うということは、その時々感情をそのままに表すようなものです。着ける女性にしっかりと馴染むのが本当のジュエリーだと私たちは信じているのです。レオ・ピッツォの作品には現代的なものでもどこかクラシカルなエッセンスと優美さが表現されているという自負があります。

普遍的なエレガンスを追求すること。これが私たちのジュエリー愛の根底にあるのです。

“made in Italy” 『イタリア製』を誇ること。

これが世界中にイタリアンジュエリーの創造性の高さ、信頼のおける価値のあるジュエリーであると認知してもらおう手段だと思っています。私たちの情熱は今も昔もただひとつです。それは丁寧にジュエリーを作りあげる、それだけなのです。

